

化学コミュニケーションの フロンティア

科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型)2017-2021年度



平成30年 **6月27日水** - **28日木** **参加費無料**

東京大学 弥生講堂 一条ホール

参加申し込みフォームより、
事前登録が必要です。



DAY1 6/27 (水)

13:00-13:10

「領域代表挨拶」

掛谷 秀昭 (京都大学大学院薬学研究所・教授)

13:10-13:30

「なぜネコはマタタビに反応するのか? マタタビ活性物質の分子標的同一性と生理意義解明にむけた研究」

宮崎 雅雄 (岩手大学農学部・准教授)

13:30-13:50

「味物質—味覚受容体の構造生物学研究による化学コミュニケーションの理解」

山下 敦子 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)・教授)

13:50-14:10

「深層学習と分子シミュレーションを用いた計算分子設計」

齋藤 大明 (理化学研究所 生命機能科学研究センター・研究員)

14:10-16:10

ポスター発表 (弥生講堂アネックス)

16:10-16:50 特別講演

「NanoSIMSを用いた生物試料の元素イメージング」

竹内 美由紀 (東京大学大学院農学生命科学研究科・特任助教)

16:50-17:30 特別講演

「最先端技術を用いた微生物のシングルセル解析」

竹山 春子 (早稲田大学理工学術院・教授)

17:40-19:40

懇親会 (弥生講堂アネックス) 参加費: 5,000円 当日お支払いください

DAY2 6/28 (木)

9:30-10:00

「宿主と環境の遺伝子解析に基づくがん治療」

西尾 和人 (近畿大学医学部・教授)

10:00-10:30

「天然物立体異性体を用いる植物病原菌耐性の化学チューニング」

上田 実 (東北大学大学院理学研究科・教授)

10:45-11:15

「マルチオミックス基盤を活用したがん代謝阻害剤の探索」

長田 裕之 (理化学研究所 環境資源科学研究センター・副センター長)

第1回若手シンポジウム 6/28(木)13:00-17:10 [懇親会17:30-19:30]

■「ペプチド代謝活性の網羅的解析(enzymomics)による新規疾患関連タンパク質の探索」
小松 徹(東京大学大学院薬学系研究科・助教)

■「タンパク質構造に基づく高リガンド性制御分子の開発」
梅原 崇史(理化学研究所 生命科学研究センター・ユニットリーダー)

■「大規模な化合物データに対する深層学習」
椿 真史(産業技術総合研究所 人工知能研究センター・特別研究員)

■「AI創薬:化合物の薬効や副作用を予測するデータ駆動型アプローチ」
山西 芳裕(九州大学生体防御医学研究所・准教授)

■「ゲノム編集ツールCRISPR-Cas9の構造解析と機能改変」
西増 弘志(東京大学大学院理学系研究科・助教)

■「多面体型錯体の自己集合 -分子集合の制御を目指して-」
上田 善弘(京都大学化学研究所・助教)

■特別講演「化学を伝える技術」
佐藤 健太郎(サイエンスライター)

懇親会 (アプルボア、東大農学部構内) 参加費: 4,000円 当日お支払いください